

# ●特集 次の災害にどう備えるか 進化する生協のBCP



2018年2月、北陸地方を襲った豪雪により交通網がまひ。  
福井県坂井市にあるコープ北陸事業連合の丸岡DCも機能停止に陥った。

「今年の漢字」に「災」が選ばれた  
2018年は**災害の多い年**として  
記憶されていますが、19年が  
同じような年にならないとは言えま  
せん。あのとき**生協は**どう対応し、  
その**教訓**をどう生かしているのか、  
昨年の事例を報告します。



〈主な連載〉

巻頭インタビュー

●わが生協、かくありたい!

コープながの

代表理事 理事長 太田 栄一氏

●宅配連載

全国生協の宅配事業・  
宅配センター運営を学ぶ

●特別企画

第30回 ユーコープ

宅配の看板と地盤を生かして「おいしい」「たのしい」  
「ヘルシー」を毎日お届けするユーコープの配食事業

コープふくしま

市民の力と知恵を持ち寄って主体的な復興を  
復興の当事者が集い、学ぶ場の意義とは

**注目** 記事!

●店舗連載

第17回 京都生協

利用の入り口として宅配との併用利用  
を視野に店舗事業の再構築を進める  
京都生協の挑戦



積極的な改装を機に供給を回復させている京都生協。  
ここでしか手に入らない「価値ある商品」を訴求することで  
他店との差別化を図っている。



# 生協運営資料

No.306

2019.3

B5判

奇数月 10日発行

定価 870円・年間 5,220円

次号「特集」予告

●特集：商品を通して生協は  
組合員に何を提供するのか（仮）

今や商品の「安全」は当たり前になり、「品質」「価格」のほか、  
近年は「簡便」や「非日常性」などを事業者はアピールして  
います。消費者が求めている価値を、生協は理解し、共感を  
広めることができているか、さまざまな事例から考えます。

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで

日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183